



2020年10月28日

各位

会社名 株式会社 島根銀行
 代表者名 取締役頭取 鈴木 良夫
 (コード番号 7150 東証第一部)
 問合せ先 人事財務グループ部長 佐野 克己
 (TEL 0852 - 24 - 1238)

2021年3月期第2四半期(中間期)業績予想の修正に関するお知らせ

当行は、2020年5月15日に公表しました2021年3月期第2四半期(中間期)(2020年4月1日～2020年9月30日)の業績予想を、下記のとおり上方修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 業績予想の修正

2021年3月期第2四半期(中間期)(2020年4月1日～2020年9月30日)

(1) 連結業績予想数値の修正

	経常収益	経常利益	親会社株主に帰属 する中間純利益	1株当たり 中間純利益
前回発表予想(A)	百万円 4,010	百万円 220	百万円 190	円 銭 22.69
今回修正予想(B)	3,860	350	380	45.43
増減額(B-A)	△150	130	190	
増減率(%)	△3.7	59.0	100.0	
(ご参考) 前期実績 (2019年9月期)	4,139	△1,958	△2,131	—

(2) 個別業績予想数値の修正

	経常収益	経常利益	中間純利益	1株当たり 中間純利益
前回発表予想(A)	百万円 3,010	百万円 210	百万円 180	円 銭 21.50
今回修正予想(B)	2,940	320	360	43.04
増減額(B-A)	△70	110	180	
増減率(%)	△2.3	52.3	100.0	
(ご参考) 前期実績 (2019年9月期)	3,167	△1,959	△2,130	—

2. 修正の理由

個別業績予想において、有価証券関係売却損益は当初予想を下回る見込みとなりましたが、貸出金利息やSBIグループとの連携効果による有価証券利息配当金及び役務取引等収益が当初予想を上回る見込みとなったことに加え、物件費や人件費などの経費及び与信関連費用が当初予想を下回る見込みとなりました。これに伴い、コア業務純益（除く投信解約損益）も256百万円と2017年3月期第2四半期（中間期）以来4期ぶりの黒字となる見込みです。また、連結業績予想については単体の要因に加え、連結子会社の業績も好調に推移する見込みです。以上により、2021年3月期第2四半期（中間期）の業績予想を修正するものであります。

なお、下半期（2020年10月1日～2021年3月31日）において、2021年3月期第2四半期（中間期）同様、SBIグループとの連携施策により貸出金利息、有価証券利息配当金、役務取引等収益などの収益面は順調に推移することが見込まれますが、今後の経済環境が不透明であることから与信関連費用などを保守的に見込んでおり、2020年5月15日に公表しました、2021年3月期（通期）業績予想の変更はありません。

※本資料に記載されている予想計数は、現時点において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

以 上